

2019年6月27日

各 位

会 社 名 ソレイジア・ファーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荒井好裕  
(コード番号：4597 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役 CFO 管理本部長 宮下敏雄  
電 話 03-5843-8049

## 「Sancuso®」中国臨床腫瘍学会ガイドライン収載のお知らせ

当社製品、経皮吸収型 5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗薬である Sancuso® (効能・効果：がん化学療法に伴う悪心・嘔吐 (CINV)、当社開発品コード SP-01、中国語製品名：善可舒®、欧米製品名：Sancuso®、以下「Sancuso」) が、このたび中国における最大且つ最も権威あるがん関連学会とされている中国臨床腫瘍学会 (Chinese Society of Clinical Oncology : CSCO) が発行した「がん治療時の悪心及び嘔吐の治療用ガイドライン」(以下、「本ガイドライン」) において、がん治療時の標準的な制吐療法の選択肢として新たに収載されましたのでお知らせいたします。

Sancuso は、CSCO 傘下の学会である Committee of Rehabilitation and Palliative Care of China Anti-cancer Association (CRPC) が監修・発行する制吐療法ガイドラインにおいて、既に標準療法の一つとして収載されていましたが、この度、CSCO が編集し発行する初の「がん治療時の悪心及び嘔吐の治療用ガイドライン」においても、標準制吐療法として推奨されることとなりました。

CSCO の副理事長であり本ガイドラインの編集委員長でもある Qin Shukui 教授 (Director of Cancer Center of PLA General Hospital of Eastern Theater Command) は、次のように述べています。「本ガイドラインでは、がん化学療法治療期間中に発現する急性並びに投与終了後に発現する遅延性の悪心及び嘔吐全般をコントロール (Whole Process Management of Nausea and Vomiting) するための予防的な制吐療法の重要性を強調しています。中国では従来 CINV 予防として効果発現時間の短い注射剤が主に使用されてきましたが、注射剤は血中濃度が大きく変動するために末梢血管に対して悪影響を及ぼし、且つ繰り返し行う投与は利便性が低いことが指摘されています。Sancuso は、グラニセトロンが持続的に放出するように設計され、7 日間に渡り効果を示す世界で唯一の経皮吸収型制吐剤です。1 回の投与 (貼布) で数日間にわたる高度及び中等度制吐性の化学療法で誘発される急性及び遅延性の悪心・嘔吐全般のコントロールに寄与し、化学療法を受ける患者にとって新しい非侵襲性で且つ安全な選択肢となります。特に数日間に渡る化学療法を受ける患者、嚥下障害及び経口による薬物吸収が確実でない患者に対する利便性は相当に高まるものと考えます。」

また、本ガイドラインの専門委員である Chen Yingxia 教授 (Ward Chief of Cancer Center of

# Solasia

PLA General Hospital of Eastern Theater Command) は、「Sancuso の利点は、経口又は注射なしで、様々な患者のニーズを満たすことができることです。臨床医は、患者の状態、経済状況、使い易さなどの要因に基づいて推奨する薬剤を患者に提供しなければなりません。Sancuso は、がん治療時の悪心・嘔吐全般をコントロールするための新しくより便利な治療法の選択肢を提供することとなります。」と述べています。

当社は、今後も、『患者さんの明るい未来のためにより良い医薬品を提供してゆきたい』という理念の下、患者さんの生活の質（QOL）の向上に寄与することを目指します。

本件による当社業績への貢献は中長期に渡り及ぶものと認識しております。また、当期単年度業績への影響は、現時点では本年 2 月 13 日に公表いたしました 2019 年 12 月期連結業績予想レンジの範囲内に収まるものと想定し、当該予想値の変更は行いません。

以上

## 注意事項：

このプレスリリースに記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、このプレスリリースに含まれている医薬品又は医療機器（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。